

平成 2 2 年度事業報告

(平成 2 2 年 4 月 1 日 ~ 平成 2 3 年 3 月 3 1 日)

I . 事業の実施

優良種苗の供給による特産農作物の生産性と品質の向上を図るため、網走及び十勝の各特産種苗センターにおいて、北海道等の関係道県及び関係団体と協議して樹立した計画に基づき、豆類、馬鈴しょ、麦類等の優良種苗の生産・配布を実施した。本年度の北海道の天候は、低温寡照の昨年度とは一転して記録的な高温となり、また、日照時間はほぼ平年並みであったものの、降水量は平年を大きく上回って推移した。このため、各作物の生育も異常高温、多雨により影響を受け、菜豆、馬鈴しょ等で生産計画を下回る品種も多く見られた。

試験調査については、馬鈴しょ海外導用品種等についての栽培試験及びナガイモ等についての地域適応性、採種技術等に関する試験調査を関係機関より受託して実施した。

また、近年重要性が高まっている加工用馬鈴しょについて、加工性に優れた新品種の早期育成と新品種の実用化を結ぶ「ばれいしょ加工適性研究会」を主催するとともに、特産農作物に関する品種、種苗、生産技術、産地情報を主体とした情報誌「特産種苗」を引き続き発行する等情報提供活動の強化に努めた。

1 . 優良原種苗の生産・配布

(1) 豆類等原原種・原種等の生産配布

北海道庁等の助成を得つつ、北海道及び関係団体と協議して樹立した生産計画に基づき、網走及び十勝特産種苗センターにおいて、豆類（大豆、小豆、菜豆、高級菜豆）の原原種ほ・原種ほ等計 15.4ha、麦類（秋播小麦、二条大麦）の原種ほ等 15.6ha 及びそばの原原種ほ 1.0ha を設置して種子生産を行った。

豆類全体の生産量は 35.4t であり、うち菜豆においては生育期間中続いた異常高温と多雨による病害の発生や裂皮の発生、小粒化等による品質の低下からの減収が大きく計画の 1 割減となった（詳細は 3 頁のとおり。以下同じ。）また種子配布量は 29.3 t であった（過年度産を含む。詳細は 4 頁のとおり。以下同じ。）

麦類についても、登熟期間中続いた高温の影響で登熟日数が短縮されたことから未熟粒が多く、また小粒化し、秋播小麦の採種及び二条大麦においては計画に対し 1 割前後の減収となった。麦類全体の生産量は 76.8t、種子配布量は 62.2 t であった。

そばも同様に収穫期まで続いた高温の影響で未成熟粒が多く見られたが、収量は 1,088 kg で計画を上回った。また、種子配布量は 790kg であった。

なお、従前の豆類種子増殖事業協力費に替って本年度から開始された(財)日本豆類基金協会の公募事業である豆類振興事業に応募して採択され 26,809 千円の助成を受けた。これにより豆類原原種及び原種等の優良種子の生産配布をより計画的、安定的に実施していくために必要な機械器具、生産基盤等の整備及び豆類に関する調査等を実施した。

(2) 馬鈴しょ原種等の生産配布

北海道及び関係団体と協議して樹立した生産計画に基づき、網走及び十勝の各特産種苗センターにおいて、原種ほ 13.9ha を設置して種子生産を行った。馬鈴しょについても本年度は塊茎肥大期の大半の時期が高温で経過したこと等から一部の品種で中心空洞や裂開が発生し、また小粒塊茎となった品種も多く見られ、特にトヨシロやホッカイコガネ等では計画の 2 割強～ 1 割減生産となった。馬鈴しょの全体生産量は 383t であり、種子配布量は 351 t であった。

(3) ナガイモ原原種等の生産配布

ホクレン及び女満別町農業協同組合からの委託により、網走特産種苗センターにおいて、ナガイモの原原種・原種ほ 0.6ha を設置し、原原種等の生産を行った。異常高温と湿害により規格内歩留まりが低下したことから、生産量は計画をやや下回る 18.7t であり、種子配布量は 14.3 t であった。

(4) 薬草種苗の生産配布

薬草種苗の供給要請に応じ、網走特産種苗センターにおいて、トウキ種苗ほ 2.4a を設置し、種苗の生産を行った。配布量は需要の減から計画を大幅に下回る 91 千本であった。

平成22年度種苗生産実績（網走特産種苗センター、十勝特産種苗センター 計）

作物名	品種名	種子種類	生産場所	生産面積 (a)	生産量(kg)		
					計画(A)	実績(B)	B/A(%)
大豆	ユキホマレ	原種	網走・十勝	160	3,810	4,708	124
	トヨコマチ	原種	網走	50	1,050	1,580	150
小豆	エリモショウズ	原種	網走	30	720	1,010	140
	きたろまん	原種	十勝	70	1,680	2,229	133
		採種	十勝	210	5,040	5,477	109
菜豆	大正金時	原原種	網走	120	2,160	2,030	94
		原種	網走	150	2,700	2,320	86
	福勝	原原種	十勝	270	6,480	5,860	90
		原種	十勝	100	2,400	1,958	82
		採種	十勝	150	3,600	3,475	97
	福良金時	原原種	網走・十勝	100	1,950	1,863	96
		原種	網走・十勝	100	2,050	1,791	87
高級菜豆	福虎豆	原種	網走	10	240	340	142
	大白花	原種	網走	20	760	770	101
馬鈴しょ	男爵薯	原種	網走	5	1,500	1,356	90
	トヨシロ	原種	網走	95	30,400	22,900	75
	コナフブキ	原種	網走	230	78,200	71,921	92
	ノーキングラセット	原種	網走	19	5,700	5,930	104
	スノーマーチ	原種	網走	20	6,400	6,701	105
	ゆきつばら	原種	網走	20	6,400	5,878	92
	サクラフブキ	原種	網走・十勝	110	33,500	34,070	102
	アスタルテ	原種	網走	20	6,600	5,955	90
	メークイン	原種	十勝	310	80,600	84,350	105
	ワセシロ	原種	十勝	120	32,400	30,620	95
	ホッカイコガネ	原種	十勝	380	110,200	97,192	88
	ナツフブキ	原種	十勝	50	13,000	13,820	106
シェポディー	原種	十勝	10	2,600	1,960	75	
秋播小麦	きたほなみ	原種	網走・十勝	1,000	54,340	54,381	100
		採種	十勝	280	15,960	14,040	88
二条大麦	りょうふう	原種	網走	280	8,960	8,418	94
そば	キタワセソバ	原原種	十勝	100	1,000	1,088	109
ナガイモ	HA	原原種	網走	13	2,721	2,718	100
	JA	原種	網走	50	16,000	15,210	95
薬草(トウモロコシ)	大深系	採種	網走	2.4	180,000本	90,750本	50
緑肥・その他	ハイマツ、デントコーン他		網走・十勝	1,530			
	試験ほ		十勝	120			

計		6,304	541,121	513,919	95
うち 豆 類 計		1,540	34,640	35,411	102
馬鈴しょ 計		1,389	407,500	382,653	94
麦 類 計		1,560	79,260	76,839	97
そば 計		100	1,000	1,088	109
ナガイモ 計		63	18,721	17,928	96

注：生産量の計に薬草(トウモロコシ)は含まない。

平成22年度種苗配布実績（網走特産種苗センター、十勝特産種苗センター 計）

平成20年産貯蔵分

作物名	品種名	種子種類	生産場所	前年度から繰越量(kg)	22年度生産量(kg)	22年度配布等量(kg)				次年度への繰越量(kg)
						本来目的種子	その他種子	その他	計	
菜豆	大正金時	原原種	網走	1,436	-	1,256	0	180	1,436	0
	福勝	原原種	十勝	1,907	-	1,705	0	0	1,705	202
	福良金時	原原種	網走・十勝	1,741	-	1,092	0	85	1,177	564
そば	キタワセソバ	原原種	十勝	855	-	790	0	0	790	65

平成21年産貯蔵分

作物名	品種名	種子種類	生産場所	前年度から繰越量(kg)	22年度生産量(kg)	22年度配布等量(kg)				次年度への繰越量(kg)
						本来目的種子	その他種子	その他	計	
大豆	ユキホマレ	原種	網走	610	-	360	0	250	610	0
	トヨコマチ	原種	網走	120	-	120	0	0	120	0
小豆	エリモショウズ	原種	網走	898	-	840	0	58	898	0
菜豆	大正金時	原原種	網走	2,250	-	60	0	0	60	2,190
		原種	網走	2,640	-	2,370	0	270	2,640	0
	福勝	原原種	十勝	2,952	-	880	0	0	880	2,072
		原種	網走	750	-	720	0	30	750	0
	福良金時	原原種	網走	690	-	28	0	0	28	662
高級菜豆	福虎豆	原種	網走	180	-	180	0	0	180	0
	大白花	原種	網走	450	-	450	0	0	450	0
秋播小麦	ホクシン	原種	網走	1,120	-	0	0	1,120	1,120	0
二条大麦	りょうふう	原種	網走	2,395	-	1,525	870	0	2,395	0

平成22年生産分

作物名	品種名	種子種類	生産場所	前年度から繰越量(kg)	22年度生産量(kg)	22年度配布等量(kg)				次年度への繰越量(kg)
						本来目的種子	その他種子	その他	計	
大豆	ユキホマレ	原種	網走・十勝	-	4,708	1,920	1,180	378	3,478	1,230
	トヨコマチ	原種	網走	-	1,580	600	0	620	1,220	360
小豆	エリモショウズ	原種	網走	-	1,010	0	0	200	200	810
	きたるまん	原種	十勝	-	2,229	1,050	1,104	75	2,229	0
採種		十勝	-	5,477	5,373	0	104	5,477	0	
菜豆	大正金時	原原種	網走	-	2,030	0	0	830	830	1,200
		原種	網走	-	2,320	0	0	520	520	1,800
	福勝	原原種	十勝	-	5,860	0	2,063	1,017	3,080	2,780
		原種	十勝	-	1,958	1,200	453	305	1,958	0
		採種	十勝	-	3,475	3,295	0	180	3,475	0
	福良金時	原原種	網走・十勝	-	1,863	0	200	543	743	1,120
原種		網走・十勝	-	1,791	600	160	431	1,191	600	
高級菜豆	福虎豆	原種	網走	-	340	0	0	70	70	270
	大白花	原種	網走	-	770	0	0	290	290	480
馬鈴しょ	男爵薯	原種	網走	-	1,356	1,000	0	356	1,356	0
	トヨシロ	原種	網走	-	22,900	18,296	0	4,604	22,900	0
	コナフブキ	原種	網走	-	71,921	65,185	6,736	0	71,921	0
	ノキングラット	原種	網走	-	5,930	5,540	0	390	5,930	0
	スノーマーチ	原種	網走	-	6,701	5,880	776	45	6,701	0
	ゆきつばら	原種	網走	-	5,878	4,810	1,002	66	5,878	0
	サクラフブキ	原種	網走・十勝	-	34,070	29,800	3,430	840	34,070	0
	アスタルテ	原種	網走	-	5,955	5,090	865	0	5,955	0
	メークイン	原種	十勝	-	84,350	62,000	12,620	9,730	84,350	0
	ワセシロ	原種	十勝	-	30,620	27,900	0	2,720	30,620	0
	ホツカイコガネ	原種	十勝	-	97,192	79,600	6,600	10,992	97,192	0
	ナツフブキ	原種	十勝	-	13,820	10,000	2,560	1,260	13,820	0
	シェポディー	原種	十勝	-	1,960	1,700	0	260	1,960	0
	秋播小麦	きたほなみ	原種	網走・十勝	-	54,381	34,710	8,010	11,661	54,381
採種			十勝	-	14,040	10,560	0	3,480	14,040	0
二条大麦	りょうふう	原種	網走	-	8,418	6,475	0	338	6,813	1,605
そば	キタワセソバ	原原種	十勝	-	1,088	0	0	188	188	900
	H A	原原種	網走	-	2,718	2,718	0	0	2,718	0
ナガイモ	J A	原種	網走	-	15,210	11,590	0	0	11,590	3,620
	大深系	採種	網走	-	90,750本	90,750本	0本	0本	90,750本	0本
計				20,994	513,919	409,268	48,629	54,486	512,383	22,530
うち 豆 類 計				16,624	35,411	24,099	5,160	6,436	35,695	16,340
馬鈴しょ 計				0	382,653	316,801	34,589	31,263	382,653	0
麦 類 計				3,515	76,839	53,270	8,880	16,599	78,749	1,605
そば 計				855	1,088	790	0	188	978	965
ナガイモ 計				0	17,928	14,308	0	0	14,308	3,620

注： 菜豆及びそば原原種の配布量には自家原種生産用を含む。 計に薬草(トウキ)は含まない。

平成22年度原種等配布収入及び助成金等収入実績

(網走特産種苗センター、十勝特産種苗センター 計)

(単位：円)

区分	作物名	種子種類	生産場所	種子用		その他	計	
				本来目的	その他			
生産物 配布収入	[平成20年産貯蔵分]							
	菜豆	原原種	網走・十勝	1,814,109	0	23,187	1,837,296	
	そば	原原種	十勝	338,257	0	0	338,257	
	計				2,152,366	0	23,187	2,175,553
	[平成21年産貯蔵分]							
	大豆	原種	網走	215,634	0	6,563	222,197	
	小豆	原種	網走	451,868	0	19,793	471,661	
	菜豆	原原種	十勝	380,464	0	0	380,464	
		原種	網走	1,892,162	0	99,750	1,991,912	
	高級菜豆	原種	網走	528,507	0	0	528,507	
	秋播小麦	原種	網走	0	0	17,640	17,640	
	二条大麦	原種	網走	319,930	104,895	0	424,825	
	計				3,788,565	104,895	143,746	4,037,206
	[平成22年生産分]							
	大豆	原種	網走・十勝	1,058,929	334,502	16,415	1,409,846	
	小豆	原種	網走・十勝	522,622	442,814	22,434	987,870	
		採種	十勝	2,177,160	0	546	2,177,706	
	菜豆	原原種	網走・十勝	0	715,408	207,471	922,879	
		原種	網走・十勝	735,840	196,313	87,983	1,020,136	
		採種	十勝	1,048,304	0	788	1,049,092	
	高級菜豆	原種	網走	0	0	32,873	32,873	
	馬鈴しょ	原種	網走・十勝	23,629,924	1,879,069	174,242	25,683,235	
	秋播小麦	原種	網走・十勝	8,034,045	2,213,482	154,831	10,402,358	
		採種	十勝	2,044,927	0	69,793	2,114,720	
	二条大麦	原種	網走	1,388,305	0	0	1,388,305	
	そば	原原種	十勝	0	0	16,239	16,239	
	ナガイモ	原原種	網走	1,158,455	0	0	1,158,455	
		原種	網走	2,433,900	0	0	2,433,900	
	薬草(トウモロコシ)	採種	網走	190,575	0	0	190,575	
	計				44,422,986	5,781,588	783,615	50,988,189
	合計				50,363,917	5,886,483	950,548	57,200,948
	うち豆類計				10,825,599	1,689,037	517,803	13,032,439
	馬鈴しょ計				23,629,924	1,879,069	174,242	25,683,235
麦類計				11,787,207	2,318,377	242,264	14,347,848	
そば計				338,257	0	16,239	354,496	
ナガイモ計				3,592,355	0	0	3,592,355	
薬草(トウモロコシ)計				190,575	0	0	190,575	
助成金等 収入	豆類優良種子増殖事業						26,809,000	
	麦類等原原種・原種ほ等設置						1,637,900	
	ナガイモ原原種・原種ほ設置委託						1,298,000	
	調査委託						5,624,679	
	計						35,369,579	
総計							92,570,527	

2. 試験調査の実施

(1) 馬鈴しょ海外導入品種MT等栽培試験

十勝特産種苗センターにおいて、(株)ジャパンポテトからの委託(委託費 800 千円)により、海外導入品種のMT(マイクロチューバー)(10 品種)及びMT由来塊茎(9 品種、うち 8 品種はMTと同じ)を用いた品種特性、MT 種苗生産技術についての栽培試験・調査を実施するとともに、MT による試験用塊茎の作成(2 品種)を行った。

(2) 馬鈴しょ育成品種栽培試験

十勝特産種苗センターにおいて、ホクレンからの委託(委託費 500 千円)により、ホクレン育成品種 3 品種のMnT(ミニチューバー)を用いて、試験用種いもの生産及び品種特性についての栽培試験を行った。

(3) 馬鈴しょ原種等ウイルス病後代検定

十勝地域で生産された原種ほ及び採種ほ産種馬鈴しょについてのウイルス病等の罹病状況を調査するため、十勝特産種苗センターにおいて、十勝農業協同組合連合会からの委託(委託費 227 千円)を受けるとともに十勝農業協同組合連合会との共同調査を実施し、その結果を種馬鈴しょの栽培情報として提供した。

(4) 種馬鈴しょ小粒化生産技術確立試験

現状の種馬鈴しょ生産体系は、種いも(規格:40~230g)を2~4片に切断して使用することが一般的であるが、近年、畑作経営の大規模化と省力化の進展に伴い、全粒または2つ切りまでの小粒(30~120g)種馬鈴しょの需要が高まっている。このため、十勝特産種苗センターにおいて、この規格の歩留まりを高め効率的に生産する技術体系の確立を図るための検討について十勝農業協同組合連合会からの委託(委託費 210 千円)を受けるとともに、十勝農業協同組合連合会との共同調査を実施した。

本年供試したワセシロ、ホッカイコガネ共に高温浴光区で萌芽期が早く、また小粒規格の個数、収量も高温浴光区が比較的多く、初期生育の促進が小粒規格の収量増加に繋がることが推察された。

(5) 馬鈴しょ機能性等分析試験

(財)いも類振興会からの委託(委託費 2,000 千円)により、東京家政学院短期大学の協力を得て、より加工適性を備えた馬鈴しょ新品種の育成・普及及び用途・消費の拡大に資するため、有色馬鈴しょフレークの機能性及び馬鈴しょの調理特性についての試験を実施した。なお、本試験結果の概要は平成23年3月開催のばれいしょ加工適性研究会において報告した。

(6) ナガイモ種子生産技術確立調査

十勝特産種苗センターにおいて、幕別町農業協同組合からの委託（委託費 1,788 千円）により、ナガイモ種子生産技術確立のための調査を行った。調査では温室・ビニールハウス（計 369m²）及び野外ほ場 30a においてナガイモの種子を生産するとともに、生産技術に関する情報の収集を行った。

(7) トウキ栽培試験

網走特産種苗センターにおいて、(財)日本特産農産物協会からの委託（委託費 100 千円）により、薬用作物（トウキ）について出芽率向上、生育の安定化等採種栽培改善のための栽培試験を行った。

試験の結果、慣行のとうみ選にふるい選別と比重選別を組み合わせることで出芽率が大きく改善されることが確認された。しかし、出芽率の高さを反映し、出芽本数は密植区が最も多くなったが規格内本数は疎植区が多くなり、播種量に課題を残した。

(8) ばれいしょ加工適性研究会

食品加工用ばれいしょの需要拡大による国産ばれいしょの生産と加工産業の振興の重要性に鑑み、近年重要性が高まっている加工適性に優れた馬鈴しょ品種の早期育成と普及を目指した育種、生産、加工の各分野の専門家で構成するばれいしょ加工適性研究会を組織し、平成 22 年度においても従前に続き以下について実施した。

加工試験の実施

(独)農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター、(地独)北海道立総合研究機構北見農業試験場、長崎県農林技術開発センター育成の 20 品種・系統を食品加工メーカー 7 社の協力を得てポテトチップス、フライドポテト、コロッケ等への加工試験を実施した。

ばれいしょ加工適性研究会の開催

平成 23 年 3 月 8~9 日に北海道農業研究センター芽室研究拠点（芽室町）において、品種育成機関、加工業者、生産者団体から構成されている委員 14 名の他、農林水産省、北海道、生産者団体等 80 名余の参加による研究会を開催し、加工試験のデータをもとに加工用途ごとの比較検討及び次年度調査に向けた品種選抜を行った。

新品種等に関する情報提供

加工試験の結果、供試品種の来歴、栽培・加工特性等研究会の成果を整理、取りまとめ関係機関等に提供した。

3. 情報の提供

(1) 「特産種苗」の発行

特産農作物の振興に資するため、特産農作物に関する品種、種苗、生産技術、産地情報を主体とした情報誌「特産種苗」を発行し、都道府県、試験研究機関、大学、農協等関係者に対し各号約 1,000 部を配布した。

情報誌「特産種苗」発行状況

号	発行年月	特 集
7	平成 22 年 4 月	ばれいしょ
8	8 月	アマランサス・キノア
9	11 月	雑穀類の生産状況（平成 17～21 年産）
10	平成 23 年 3 月	ソバ

(2) 日本種馬鈴薯協会の運営

主要種馬鈴薯採種道県の北海道、群馬県、岡山県、広島県、長崎県、熊本県の種馬鈴薯生産団体及び全国農業協同組合連合会により構成されている日本種馬鈴薯協会の事務局としてその運営に当たり、情報提供の一環として「健全種馬鈴しょ使用啓発チラシ」30,000 枚を作成し、全国の種馬鈴しょ販売店に配布した。

(3) ホームページの運営

ホームページを通じて特産種苗センターでの種苗生産状況や特産農作物に関する情報提供を行った。

4. 生産基盤の整備

(1) 災害に強いほ場への改善

平成 21 年度における減収の要因として、多雨による排水不良の影響が大きかったことから、こうした条件下においても安定的な生産が可能となるよう必要な力所に暗渠排水の施行等排水改良対策を実施した。

(2) ほ場の土壌改善等

合理的な 4 年輪作を堅持しつつ、有機質補給等のため緑肥作物の導入等により土壌の改善を図った。

(3) 機械・施設の整備等

機械・施設の老朽化に伴う修理費の増増及び高性能機械等の普及に対応して、機械・施設の更新、新規導入等整備を進めた。

(4) 技術習得等

特産物種苗等の生産・配布の要請に対し的確に応えられる体制とするため、各種技術研修会への参加、技術交流検討会の開催等により種苗生産に係る技術習得に努めた。

特に本年度は、農林水産省農林水産研修所で行われた「農作業安全研修（農作業安全総合指導法コース）」に職員 2 名を参加させ、作業の安全の向上に努めた。

．組織及び運営

1．役員会等の開催

(1) 評議員会

第 1 回評議員会 (平成 22 年 5 月 26 日三会堂ビル会議室において開催)

第 1 号議案 平成 21 年度事業報告 (案) 及び財務諸表 (案) 等について

平成 21 年度事業報告 (案) 及び財務諸表 (案) 等について、理事長から平成 21 年度事業実施の概要及び資産の管理、運用状況について説明があり、続いて専務理事からその細部についての説明があった。

谷口監事から、5 月 19 日に行われた平成 21 年度事業報告 (案) 及び財務諸表 (案) 等の監査結果について、妥当であった旨の報告があった。

審議の後、異議なく同意された。

その他について

事務局及び評議員からの提案はなかった。

第 2 回評議員会 (平成 23 年 3 月 23 日三会堂ビル会議室において開催)

第 1 号議案 平成 23 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について

平成 23 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について、理事長から前提となる平成 22 年度の事業実施概要及び資産運用の現状について説明があり、続いて専務理事からその細部についての説明があった。

審議の後、異議なく同意された。

その他について

理事長から、公益法人の新たな認定制度への今後の取り組みの考え方及び取組予定についての説明がなされ、了知された。

(2) 理事会

第 1 回理事会 (平成 22 年 5 月 26 日三会堂ビル会議室において開催)

第 1 号議案 平成 21 年度事業報告 (案) 及び財務諸表 (案) 等について

平成 21 年度事業報告 (案) 及び財務諸表 (案) 等について、理事長から平成 21 年度事業実施の概要及び資産の管理、運用状況について説明があり、続いて専務理事からその細部についての説明があった。

谷口監事から、5 月 19 日に行われた平成 21 年度事業報告 (案) 及び財務諸表 (案) 等の監査結果について、妥当であった旨の報告があった。

審議の後、異議なく承認議決された。

その他について

事務局及び理事からの提案はなかった。

第2回理事会（平成23年3月23日三会堂ビル会議室において開催）

第1号議案 平成23年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

平成23年度事業計画（案）及び収支予算（案）について、理事長から前提となる平成22年度の事業実施概要及び資産運用の現状について説明があり、続いて専務理事からその細部についての説明があった。

審議の後、異議なく承認議決された。

その他について

理事長から、公益法人の新たな認定制度への今後の取り組みの考え方及び取組予定についての説明がなされ、了知された。

（3）監事監査

平成23年5月19日、谷口敏彦監事及び越智信彦監事による平成22年度事業報告（案）及び収支決算（案）についての監査を受け、適正である旨の意見があった。

2. 理事・監事及び評議員（平成23年3月31日現在）

（1）理 事

理事長	桑名清文	
専務理事	垣矢直俊	
理 事	伊藤政光	ホクレン農業協同組合連合会代表理事副会長
	上原勝美	(財)日本豆類基金協会参与
	小川 奎	(財)日本植物調節剤研究協会会長
	要 司	(社)大日本農会編集部長
	地挽裕介	全国農業協同組合連合会園芸農産部次長
	浜田虔二	元クミアイ化学工業株式会社代表取締役専務
	東 修二	北海道農政部長

（2）監 事

越智信彦	(財)日本豆類基金協会 常務理事
谷口敏彦	(財)日本特産農産物協会 業務第2部長

（3）評議員

熊谷秀行	ホクレン農業協同組合連合会 技監
------	------------------

桑原勝敏	(財)全国調味料・野菜飲料検査協会理事長
鈴木 敦	弁理士
染 英昭	(財)中央果実生産出荷安定基金協会副理事長
畑中孝晴	(財)日本花普及センター副会長
林 久喜	筑波大学大学院生命環境科学研究科准教授

3 . 職 員

(1) 平成23年3月31日現在

協会本部

職 員	大西貴代美
参与(非常勤)	佐々木一郎(平成22年4月1日採用)

網走特産種苗センター

場 長	鈴木清史
職 員	土山政信
職 員	丸尾博隆(平成22年12月1日採用)
職 員	大西朋巳

十勝特産種苗センター

場 長	北田亮二
職 員	長田恭幸
職 員	内海宏信(平成22年4月1日網走特産種苗センターから異動)
職 員	竹内浩二
短時間勤務職員	佐藤俊郎(平成22年4月1日再雇用)

(2) 職員の異動(上記外)

網走特産種苗センター

濱口世志(平成22年4月1日採用、平成22年11月30日退職)